

検討委員会の最終答申後に寄せられた市民意見の状況

意見の分類

1	検討委員会の選考に関する意見	18件（延べ68件）
2	その他選考等に関する意見	20件（延べ60件）
3	答申にない候補地に関する意見	7件（延べ12件）
4	地域との対話に関する意見	6件（延べ24件）
5	敷地の調査や整備に関する具体的な意見	16件（延べ34件）
合 計		67件（延べ198件）

※最終答申案を決定した第15回検討委員会開催後、市民説明会及び意見募集などにより寄せられている意見（令和元年5月14日～令和2年3月31日）

1 検討委員会の選考に関する意見 18件

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
1 丹生川町大萱の候補地において、気象条件により畜産施設からの臭気が届くことを考慮したのか。新火葬場を整備する場合、どういった対策をとるのか。	検討委員会の視察では、臭気は感じられなかった。畜産施設からの臭気については、畜産業者と随時協議し、改善に努めている。
2 新火葬場と公園が近接することになる。施設の利用目的が相反するため、双方にとってマイナスである。	検討委員会は、視察等により候補地の状況を把握しており、公園に近接することも考慮したうえで選考した。
3 遺族にとって景観は重要ではない。景観に対する評価は、評価する者によって異なる。	検討委員会は、15項目の選考基準について、重み付けや点数化を行わず、総合的に評価した。
4 基本構想における敷地面積11,800㎡に対し、候補地の公募での面積は9,000㎡程度とされており、差があるのはなぜか。	基本構想では、不足のない面積として、火葬機能、待合機能、多目的機能及び外構機能を備えるための面積を試算した。公募の際には、候補地の状況等を勘案し、必要に応じて設ける機能である「多目的機能」の部分を除き、9,000㎡程度とした。
5 基本構想に示した敷地面積は過大であり、コンパクトで機能性のある施設に見直すべきである。	基本構想で示した敷地面積は、必要な機能をモデル化し、試算したものである。
6 検討委員会では「将来の建て替え用地の確保も可能」と評価しているが、建て替えの心配まで、する必要はなく、無駄な投資である。	候補地に十分な面積があるという評価である。将来の建て替えに関しては、基本構想や選考基準に示しておらず、候補地の要件とはしていない。
7 答申された候補地は葬儀場から遠く、移動の負担が大きいと感じる市民が多いのではないかと。「移動距離・時間」という選考基準は、客観性がある納得できる明確なものであり、第一に考えるべきである。	検討委員会は、視察において、市街地と候補地の位置関係を把握している。20分程度の移動時間は受け入れられるものと判断した。

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
<p>8 丹生川町大萱の候補地の寄附については、市から所有者に対する働きかけがあったのではないかと。この候補地を前提とした選考が行われたのではないかと。土地の所有者や金額、寄附のタイミングなどについて、情報を公開すべきである。</p>	<p>市が寄附を働きかけた事実は一切ない。平成30年11月2日付で寄附申出書が提出されているが、寄附採納は建設地として決定した場合に実施する。</p>
<p>9 「寄附をされる方があるかもしれないから、事務局から全部確かめてもらいたい」との発言（第12回検討委員会議事録）について、調査結果はどうであったか。</p>	<p>検討委員会として、調査の実施を決定していないため、調査をしていない。</p>
<p>10 中部縦貫自動車道の整備時期が未定でありながら、アクセスの改善を見込んでよいと評価することはおかしいのではないかと。</p>	<p>中部縦貫自動車道は、整備時期は未定であるものの、国・県・市が協力して整備事業をすすめており、アクセスの改善を見込むことは適切である。</p>
<p>11 選考基準14「希少な動植物の有無」について、どのように調査したのか。</p>	<p>飛騨地域エコロード検討委員会委員長の大森清孝氏に依頼し、平成31年2月7日、候補地5件において目視調査を実施した。</p>
<p>12 住宅、公園やスポーツ施設等の近くには、火葬場を整備すべきではない。地域住民の環境に関する選考基準が、15項目の中に1項目のみというのは、少なすぎるのではないかと。</p>	<p>地域住民の環境には十分に配慮した選考を行った。選考手順①では、地図上で100m以内の範囲に住宅などがいないかを確認し、手順②以降では、現地を視察して、状況を把握している。</p>
<p>13 病院などから見える場所は避けるべきだが、公園ならば教育のきっかけにもなるため、遠ざける必要はない。</p>	<p>検討委員会も同様の考え方である。</p>
<p>14 火葬場から排出されるダイオキシン類によって、周辺の農作物の安全性が損なわれるのではないかと。被害がない場合でも、風評被害が懸念される。</p>	<p>検討委員会委員には、環境に関する有識者、火葬場施設の有識者、本市の農業関係者も含まれており、農業への影響等についても考慮したうえで選考した。</p>

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
15 15項目の選考基準は、それぞれの重さには違いがあること、曖昧で分かりにくさがあること等に留意しなくてはならない。選考基準をどのように用いたのか。	選考基準の重み付けや点数化は行っていない。選考手順①では、機械的に比較可能な基準を用いて選考し、手順②以降では、視察等を行って委員の意見をとりまとめ、総合的に評価した。
16 「議会・行政・市民のいろいろな意見を聞き、3年近くにわたり会議をすすめてきました」（第15回検討委員会議事録）との発言について、どういった意見を取り入れたのか。	検討の過程において、市民から寄せられた意見及び市議会への報告・協議で出された意見等は、すべて検討委員会に伝えている。検討委員会は、これらの意見を踏まえて選考を行った。
17 「途中から早く早くとの声があがった」（第15回検討委員会議事録）との発言について、誰が「早く早く」と言ったのか。	基本構想の検討段階において、検討委員会委員から議論のスピードアップを提案する意見があった。
18 候補地の公募は、市と検討委員会委員長のどちらが発案したのか。	検討委員会において決定され、市に答申された。

15

2 その他選考等に関する意見 20件

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
1 候補地の順位付けは、検討委員会ではなく、整備費用をふまえて市が行うべきである。	候補地において必要となるインフラ整備等については、市において検討を行ったうえで、経費を積算する。
2 各候補地において必要となるインフラ整備を検討したうえで、経費を試算すべきである。	
3 雨水の排水計画を示してほしい。	
4 経費がかからない候補地であるとの評価をしたことで、実際に整備費用が限定されることはないか。	

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
5 候補地が寄附された場合、寄附した者への優遇と市政の制約が懸念される。	寄附を理由として特別な対応をすることはない。
6 農地の近くに火葬場を整備した他の市町村を、参考にしてはどうか。	今後の事業推進の参考とする。
7 市民説明会の資料と説明について、不十分な点、わかりづらい点があった。	地域との対話をすすめ、丁寧な説明に努める。
8 火葬場建設事業の推進状況は、市民や市議会に対し、丁寧かつ正確に知らせてきたのか。市民から寄せられた意見は公開してきたのか。	検討委員会や市民説明会の開催記録は、随時公開している。今後とも透明性を確保しながら事業をすすめる。
9 検討委員会委員には、どれだけ報酬を払ったのか。	検討委員会設置から候補地の答申までの3年間に、約1,100万円を支出した。
10 検討委員会委員に、丹生川地域の住民はいるのか。公平な立場の委員は公募委員しかいないのではないのか。	丹生川町在住の検討委員会委員はいない。まちづくり協議会からは4名が委員となっている。各種団体から選出された委員は、団体からの推薦によっている。
11 検討委員会の会議の出席率は。	全体会議（委員42名）の出席率は約75%、部会（委員11名）は約87%であった。
12 市と検討委員会は、役割分担をどのようにしているか。検討委員会は答申後も新火葬場の整備に関わるのか。	市は検討委員会の検討には加わず、事務局として資料作成等を行った。答申後は、市が主体となって取り組みをすすめる。
13 清見町牧ヶ洞の候補地は、市の企業立地候補地でもある。あらかじめ市がどうしたいのか判断すべきだった。	市が検討委員会の選択肢を狭めるべきではないと考えた。

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
14 答申内容が決定した後に状況が変化した候補地はあるのか。	西洞町の候補地について、周辺の土地を提供してもよいとの申し出があった。 また、次の2件の候補地について辞退の届け出があった。 ・新宮町4258番地2(代表地番)※答申された候補地とは異なる ・山田町1554番地2(代表地番)
15 建設地(案)の決定方法や、その後の事業のすすめ方は。市民・関係する地域への説明の方法は。	今後は、候補地の決定～建設地の決定～施設の建設という流れになる。その過程のなかで、市民・関係地域・議会等に説明等を行う。
16 検討委員会が候補地を3件に絞り込んだところで、市民や市議会の意見を聞き、答申すべきだった。市は、検討委員会のプロセスをしっかりと検証しなくてはならない。	検討委員会における検討状況について精査する。
17 「アルプス展望公園スカイパークの一部(西側部分)」を選出した選考において、再評価で最も評価の高かった候補地(国府町瓜巢)について、整備を検討したのか。	「アルプス展望公園スカイパークの一部(西側部分)」は、十分な敷地面積が確保できないこと等から、検討委員会を設置し、新たな方法で候補地を選考することとした。
18 「アルプス展望公園スカイパークの一部(西側部分)」を火葬場整備の最終候補地から取り下げた経緯と課題は。	
19 火葬炉数を4基としているが、火葬する時間の調整をしたり、他の火葬場を利用すれば、3基で足りるのではないか。	地域の慣習から、火葬が正午前後に集中すること、将来の死亡者数の増加等も考慮し、4基とした。
20 高山火葬場は、資源リサイクルセンターのように延命化工事はしないのか。待合室は我慢するとして、現況で延命化できるのではないか。	火葬炉設備は、随時メンテナンス工事を行っているが、老朽化が著しいため、新施設を建設することとした。

3 答申にない候補地に関する意見 7件

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
<p>1 高山火葬場の敷地での整備を検討すべきである。その理由として、葬儀場から近いこと、火葬だけができる小規模の施設の整備に反対する人はいないと考えること、新たな道路を整備すればよいこと、周囲が山林であるため、緩衝帯は少なくともよいことなどがある。地下空間の利用や、トンネル整備によるアクセスも考えられる。</p>	<p>検討委員会は、基本構想に基づき、公募等により抽出された候補地を選考対象として選考を行った。 ご意見として伺う。</p>
<p>2 西洞町に整備することを希望する。その理由として、市街地に近く利便性がよいこと、周辺には寺院・墓地が多く、高山らしい火葬場として親しまれていること、将来は都市計画道路から近くなること、周辺の里山も公園として整備できること、検討委員会においても西洞町の候補地がよいとの意見があったことなどがある。面積については周辺の土地の取得を検討してもよいし、交通問題は待避所の設置等により解消できる。</p>	
<p>3 市民の声や周辺の土地の提供の申出をふまえると、高山火葬場周辺を候補地に加える必要を感じる。地域文化のあり方と一体で都市景観を考えれば、重要な候補地の一つである。候補地に加えたほうが、最終的に決定する建設地に重みが出て、理解されやすいのではないかと。</p>	
<p>4 すべての地域の市民が新火葬場を利用できるよう、高山地域に整備するのがよい。都市計画道路松之木千島線の整備に併せて道路を整備することで利用しやすくなる。</p>	
<p>5 高山火葬場の周辺に所有する土地の提供を申し出る。</p>	

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
6 久々野火葬場を増設すればよい。高山地域から丹生川地域までの時間と久々野地域までの時間は、ほぼ変わらない。宮峠トンネルや石浦バイパスが開通すれば、移動時間はさらに短縮される。	検討委員会は、基本構想に基づき、公募等により抽出された候補地を選考対象として選考を行った。 ご意見として伺う。
7 資源リサイクルセンターが移転するならば、その跡地に火葬場を整備すればよい。	

4 地域との対話に関する意見 6件

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
1 検討委員会の検討過程で、地域住民の考えを聞く機会を持つほうがよかった。建設地を決定する前に、地域の意見を聞く機会を設けてほしい。	建設地（案）が決定された後には、当該関係地域等との対話をすすめ、整備についてご理解をいただきたいと考えている。 ご意見として伺う。
2 答申された候補地であっても、反対意見があれば整備しないのか。建設地（案）に隣接する土地の所有者、町内会の理解を得たうえで整備をすすめるか。	
3 建設地（案）の地域からの要望を聞き入れるか。	
4 丹生川地域に新火葬場を整備することに反対する。火葬場にはマイナスのイメージしかない。	
5 丹生川町大萱の候補地を取り下げることがを陳情する。新火葬場の整備は、地区の発展を阻害する。農業者は、ダイオキシン類とその風評被害を恐れている。	

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
<p>6 丹生川町大萱の候補地を取り下げを陳情する。農家は風評被害などを心配している。火葬場のイメージは候補地周辺の施設にふさわしくないこと、候補地までのアクセスに私たちの町内を通ること、さまざまな懸念を持っている。</p>	<p>建設地（案）が決定された後には、当該関係地域等との対話をすすめ、整備についてご理解をいただきたいと考えている。 ご意見として伺う。</p>

5 敷地の調査や整備に関する具体的な意見 16件

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
<p>1 既存の火葬場周辺でのダイオキシン類濃度を測定し、公表してほしい。</p>	<p>R1. 10. 23 から 10. 30 にかけて、ダイオキシン類濃度を測定した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高山火葬場 : 0. 0200pg-TEQ/Nm³ ・ 久々野火葬場 : 0. 00780pg-TEQ/Nm³ ・ 荘川火葬場 : 0. 00760pg-TEQ/Nm³ 【参考値】 市営花岡駐車場 : 0. 0125pg-TEQ/Nm³ (H26-30 平均値) 大気環境基準値 : 0. 6000pg-TEQ/Nm³ (年間平均)</p>
<p>2 市のダイオキシン類の排出削減に対する考えを聞きたい。優れた設備ならばダイオキシン類をどの程度削減できるかを踏まえ、市が独自に目標値を設けたほうがよい。</p>	<p>建設地(案)の決定後、当該関係地域等との対話をすすめ、整備運営方針を決定する。 排気ガス対策については、最大限配慮する。</p>
<p>3 新火葬場は、どの地域の住民の利用を想定しているか。</p>	<p>全市民が利用できるが、主な利用地域は高山・丹生川・清見地域となる。</p>
<p>4 新火葬場の整備後、交通事故が心配である。現在、高山火葬場の1日あたりの利用件数はどれだけか。</p>	<p>利用件数は一日平均で約2件である。1件あたりの交通量は、マイクロバスが1～2台、乗用車が数台である。</p>
<p>5 新火葬場の供用開始はいつか。</p>	<p>供用開始は未定であるが、建設地の決定後、設計・施工等に約5年を要すると見込んでいる。</p>

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
6 高山火葬場は、新火葬場ができたらどうなるか。	新施設の整備後、高山火葬場は廃止を予定しているが、跡地利用などについては未定である。
7 新火葬場には、家族葬用の葬儀場を整備してほしい。	基本構想において、多目的に活用できる機能は、候補地の状況や予算等を勘案し、必要に応じて設けるものとしている。
8 選考基準14「希少な動植物の有無」について、整備にあたり環境調査をしっかりとってほしい。	適切な環境影響調査を実施する予定である。
9 丹生川町大萱の候補地に整備するならば、周辺の道路は大型の自動車を通ることもあるため、拡幅や2車線化をしたほうがよい。	候補地において必要となるインフラ整備等を検討する上で参考とする。建設地(案)の決定後、当該関係地域等との対話をすすめ、整備運営方針を決定する。
10 丹生川町大萱の候補地について、凍結によって危険な状態になることがあり、対策はロードヒーティングしかない。交通量の少ない道路への設置に理解が得られるか。	
11 丹生川町大萱の候補地について、地域では湧水をポンプアップしており、上水道と下水道を整備するならば利用したい。	
12 丹生川町大萱の候補地の排水設備について、現在の所有者が整備している部分の先は荒れた状況である。新火葬場とともに排水設備の整備も考えるのか。	
13 丹生川町では近年、長期間の停電が発生したが、停電対策は考えているか。	
14 丹生川町大萱の候補地に整備するならば、往路は、桐山から飛騨エアパークの脇を通り、丹生川グラウンドの横は通らず、ゴルフ場の西隣を通ること。復路は、北方から下りてもよいが、往復ともに北方を通過しては交通量が増加するため、避けてほしい。	

意見要旨	検討委員会及び市の考え等
1 5 新火葬場の設計者は、コンペティション（複数の設計案からすぐれた案を選び、設計者を決定する方式）で決めるとよい。	ご意見として伺う。
1 6 丹生川町大萱の候補地について、地域ではイノシシが畦畔を荒らすことがあり、市で対応してほしい。	